



TAC 教養型市役所本科生 B
M.I.さん(24 歳)

合格:国立大学法人(中国・四国地区事務)
内定:国立大学法人(中国・四国地区事務)

【改めて振り返る、今回の最終合格・内定の決め手】

島野先生の面接練習と、TAC の教材です。

この 2 つがあったからこそ、自身を持って試験に臨めました。

【面接・集団討論など二次・三次対策】

TAC 徳島校の面接練習に参加すること。

島野先生のアドバイスで、自分の良いところと、悪いところが分かります。

また、同じ試験に受かっている他の人の面接練習を見て、客観的に面接の受け答えの仕方など、参考になりました。

【この合格体験記のタイトル】

短期決戦(3ヶ月)での合格！

【TAC 徳島校の良かったところ】

1. DVD 講義では、何度も授業が受けられる。
2. 面接練習で、他の合格者と情報交換できる。
3. 模擬面接で、島野先生に元気づけられる。

【TAC でおすすめの勉強方法や教材、効果的な学習法】

講義を受けたら、すぐ V 問題集を解くことです。

私の場合、すぐでも解けない問題が多々ありました。

他の教材を使わず、ひたすら V 問を解いて、得意・不得意の分野をあぶりだす→不得意分野をノートにまとめる、を繰り返し行いました。

【学習期間や一日の学習時間と、筆記試験対策】

週 6×5 時間はしていました。

暗記系を主に解いていました。V 問を三周はしました。

数的処理は苦手だったので、判断推理など、数処の中の好みの問題から手を付けていました(他は、ほぼ手を付けなかったです)。

【受験動機】

教育系の仕事で、将来安定している所で働きたかったため。

【これから受験される方へアドバイス】

毎日勉強する時間を設けて、机に座る習慣を持つこと。

集中できない日もありますが、それでも 1 問でも 2 問でも解くこと。

TAC 流で大丈夫かと不安になることもありましたが、最後まで信じて勉強を続けることが大切だと思いました。

【TAC を選んだ理由】

知り合いの方が、TAC 徳島校をすすめてくれたから。

入って、本当に良かったです。

【最後に一言】

勉強期間が 3 ヶ月と短かったのですが、合格できたのは TAC の講義や教材のお陰です。最後の模試を 2 回受けましたが、点数も悪く、不安もありました。

それでも、ガイダンスからの島野先生の「TAC 流を信じて勉強すれば、必ず合格できる！」という言葉に、何度も助けられました。

本当にありがとうございました！！